

新潮社創立120周年記念企画展

新潮文庫の ひみつ展

大正3年、手のひらにすっぽりおさまる四六半裁判（135×94mm）で
最初の新潮文庫は刊行されました。
それから100年を越えた現在も、かたちを変えながら読み継がれている新潮文庫には、
どんなひみつがあるのでしょうか。



葡萄のマークにはアルファベットが隠されている？

平成28年4月16日 土 ~ 7月31日 日

新潮社記念文学館

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

月曜休館・ただし祝日は開館

観覧料 大人（高校生以上）300円 小中学生150円

※ 団体割引あり

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23

電話 0187 (43) 3333（仙北市学習資料館共通）

主催 仙北市教育委員会

協力（株）新潮社



平成12年に開館した新潮社記念文学館は、仙北市角館町出身の新潮社創業者佐藤義亮（1878-1951）の業績に因んで建てられた市立の文学館です。義亮が新潮社の前身である新声社を明治29（1896）年に立ち上げてから今年で120年。これを記念して開催する「新潮文庫のひみつ展」では新潮社よりご協力を頂き、多くの人々に親しまれている新潮文庫の「かたち」に焦点を当てます。

大正3（1914）年、手のひらにすっぽりおさまる四六半裁判で最初の新潮文庫は刊行されました。それから100年を越えた現在も、かたちを変えながら読み継がれている新潮文庫には、どんなひみつがあるのでしょうか。創刊から現在までの歴史、現在のかたちについて展示資料から紹介します。

——創刊から現在まで（第1期～第4期）

1914年、最初の新潮文庫が刊行

第1期 1914（大正3）年9月～

第1期新潮文庫は、ドイツのレクラム文庫に範をとった小型翻訳叢書として、義亮により企画されました。現在の文庫本よりひと回り小さな四六半裁判（135×94mm）。手のひらにすっぽりおさまるサイズですが、表紙用紙に背クロス貼り継ぎ、表紙には孔雀の意匠を箔押し、金箔の背文字、さらに見返しには孔雀のパターンを色刷し、扉は別丁の多色刷等々、造本技術の粋を凝らした贅沢な本作りがなされていました。

円本ブームの流れを汲んで1冊1円で販売

第2期 1928（昭和3）年12月～

1928（昭和3）年スタートの第2期は、サイズは四六判（177×118mm ペーパーバック）と大きくなりましたが「最良の書物を最低の廉価に」を標語に掲げ、円本ブームの流れを汲んで1冊1円で販売されました。扉には著者本人の筆による題字と署名入り。著者近影の写真を加えるなど、愛蔵版の趣も持たせたものでした。

第二次世界大戦によって中断

第3期 1933（昭和8年）4月～

1933（昭和8）年、「万人、必ず読むべく、読まざるを恥とすべき内外文芸の精粹を選んで万人必ず購得する実費的廉価を以て広く世に薦めんとするにある」と謳ってスタートしました。菊半裁判（164×112mm）後に戦時下の紙統制でA6判（148×105mm）に縮小。ペーパーバック。

現在まで刊行中

第4期 1947（昭和22）年7月～現在

1947（昭和22）年、第4期新潮文庫の第一作は川端康成『雪国』。日本画家・川端龍子の手になる葡萄の葉陰に遊ぶリスの絵を用いた装幀で、読書に渴望した人びとに大いに受け入れられました。1950年には『ジーキル博士とハイド氏』で新潮文庫に海外文学が復活。同時に装幀は、山名文夫氏による葡萄マークと額縁調の枠線で構成された表紙となり、現在まで受け継がれています。A6判（148×105mm ペーパーバック）。

※当館正面入口向かって右側には、新潮文庫 川端康成『雪国』のモニュメントが建てられています。

——現在の新潮文庫、ひみつ徹底解剖

ロゴマーク・スピン・カバー等、現在みなさんが目にする新潮文庫のひみつを徹底解剖。

新潮社記念文学館

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日（ただし祝日は開館）

観覧料 大人（高校生以上）300円 小中学生150円※ 団体割引あり

秋田県仙北市角館町田町上丁23（仙北市総合情報センター内）

電話 0187（43）3333（仙北市学習資料館共通）



新潮文庫『雪国』（川端康成）S22



▲ロゴマーク



▲カバー



▲スピン

【写真提供：（株）新潮社】

新潮文庫創刊100年記念出版

100年前の新潮文庫

創刊版 完全復刻

創刊時の新潮文庫を忠実に再現した蔵書家垂涎の豪華100年記念セット

5冊セット（函入） 定価（本体14,000円+税）

【造本】天地135⁺×左右94⁺／平均200頁／背クロス貼り／芯無し背継ぎ表紙（孔雀を意匠した箔押し）と見返し印刷／天に色／本扉別丁／地アଙ୍କット

ご注文はお近くの書店へ（右記でも承ります）
新潮社読者係03-3266-5111（受付：平日のみ10:00～17:00）
新潮オンラインショップ <http://www.shincho-shop.jp>